

目標達成計画

作成日:平成26年12月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	利用者様の重度化により、支援量が増えたために、業務内でのモニタリング、カンファレンスの時間が取れていない。また、目の離せない方たちを同席しての会議の為、集中した検討などができない。	①各ユニット毎に、毎月1回、利用者様全員についての情報を確認できる機会を作る。	①毎月、第一火曜日の全体会議の後に、情報を確認する時間を作る。 ・生活チェック表、モニタリング表を活用する。 ・モニタリング表については、居室担当者が事前に記入し、気付き等もユニット主任に提出し、会に臨む。	12ヶ月
2	33 (12)	ターミナル対象者や重度化の中で、利用者様とのコミュニケーションが図れていない点がある。勉強会等を繰り返し行い、方針の共有と支援体制の充実を図る必要がある。	①利用者様が安心して生活できる環境を作る。 ②家族が協力しやすい環境を作る。 ③協力医、主治医と連携し、支援体制の強化・計測を図る。 ④支援に必要な知識や技術を身につける。	①コミュニケーションを大事に、好きだったこと、興味のあることなどを生活に取り入れる。 ②家族の意向を確認するための機会を多く作り、家族参加の場面を設定していく。 ③連携を密に取り、体制の強化を図る。 ④定期的に勉強会を開催する。	12ヶ月
3	35 (13)	10月予定の防災訓練が年明けになったり、防災に関する勉強会ができていない。また、コンセントがたこ足になっていたり、掃除ができていない。	①防災に対する危機管理意識を高める。	①防災訓練の実施(計画通りに実施する)。 ②勉強会の実施 ③コンセント周りの掃除をこまめにする。	12ヶ月
4	40 (15)	栄養士によりアンケートは実施しているが、利用者様の希望などを十分に引き出せていない。また、日々の食事に反映できていない。	①利用者様の希望を取り入れ、食事が楽しみとなるような内容にしていく。	①定期的なアンケートの実施。 ②聞き取りには、担当者が時間をかけて行い、希望や意向が聞き出せるよう工夫する。 ③毎月、希望メニューの日を作る。 ④郷土食やフローフードをメニューに取り入れる。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。